

中期経営計画  
「NeXuSⅡ2026」  
説明会

共英製鋼株式会社

(東証プライム：5440)

1

中期経営計画「NeXuS 2023」振り返り

2

環境認識

3

中期経営計画「NeXuS II 2026」概要

4

補足資料

1

## 中期経営計画「NeXuS 2023」振り返り

2

環境認識

3

中期経営計画「NeXuS II 2026」概要

4

補足資料

# 中期経営計画2023 振り返り：連結業績

- ・ 計数目標は出荷量・設備投資を除き、売上高・利益含めすべて達成

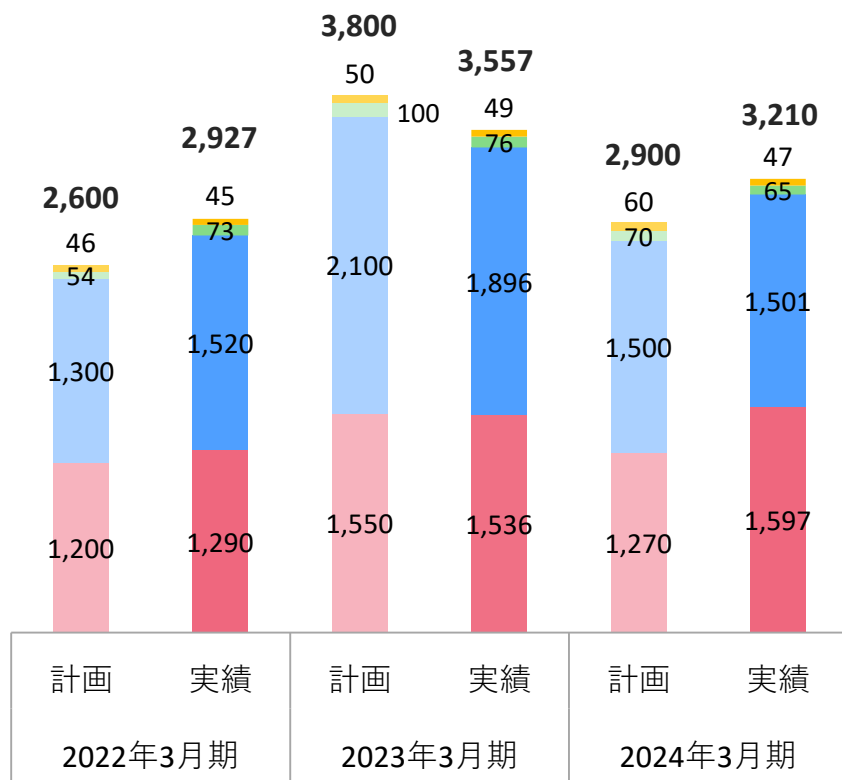
	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
売上高	2,600億円	2,927億円	3,800億円	3,557億円	2,900億円	3,210億円
経常利益	100億円	105億円	110億円	147億円	180億円	211億円
当期純利益	60億円	63億円	65億円	131億円	120億円	138億円
出荷量	360万ト	332万ト	365万ト	328万ト	400万ト	307万ト
(国内)	163万ト	158万ト	160万ト	154万ト	170万ト	158万ト
(海外)	198万ト	174万ト	205万ト	174万ト	230万ト	149万ト
ROS	3.8%	3.6%	2.9%	4.1%	6%以上	6.6%
ROE	4.0%	4.0%	3.9%	7.7%	7%以上	7.4%
配当性向	29.0%	27.5%	30.1%	26.5%	30%程度	28.3%
設備投資・事業投資	-	130億円	-	93億円	-	115億円
			600億円／3年			

# 中期経営計画2023 振り返り：売上高/営業利益

- 海外鉄鋼事業と環境リサイクル事業の業績に課題を残すも、国内鉄鋼事業の大幅な利益計上により、総額では目標クリア

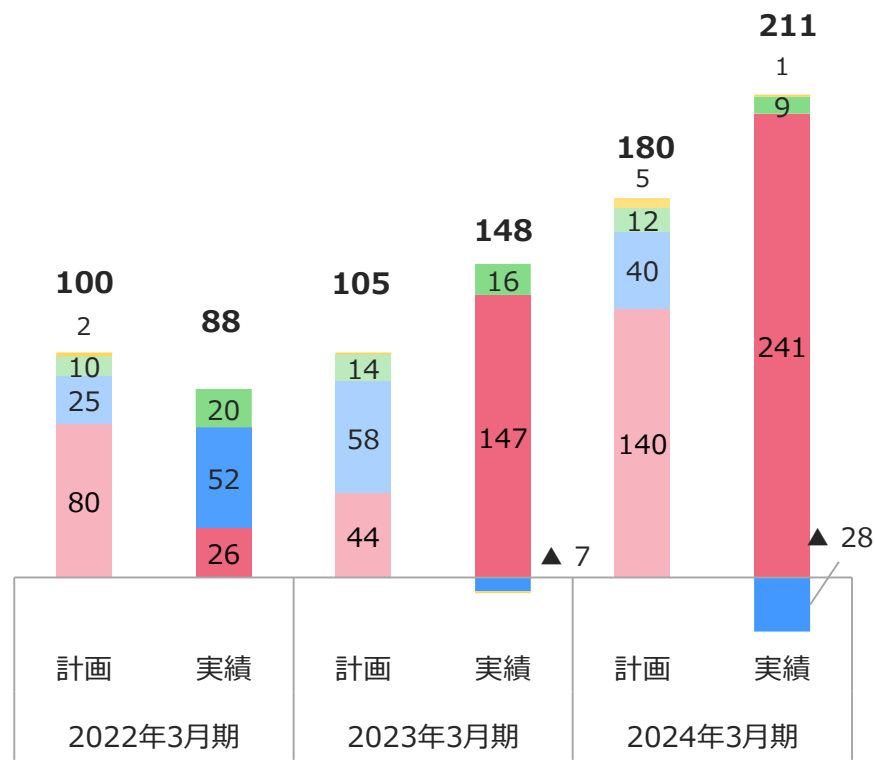
## 売上高

(億円)



## 営業利益

(億円)



■ 国内鉄鋼 ■ 海外鉄鋼 ■ 環境リサイクル ■ その他

■ 国内鉄鋼 ■ 海外鉄鋼 ■ 環境リサイクル ■ その他

# 中期経営計画2023 振り返り：6つの具体的施策 1

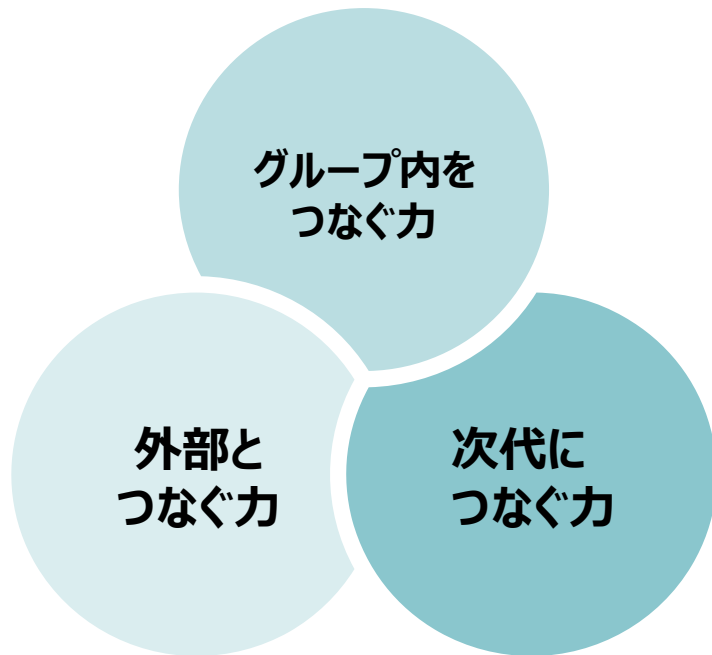
重点方針	施策	進捗状況
海外鉄鋼	収益力強化と成長拡大の準備 ▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>収益力強化は新中計へ持ち越し</b> 2021年度は不振の国内鉄鋼をカバーも、ベトナムの事業環境悪化を受け、2022年度、2023年度と大幅未達</li> <li>・ <b>成長拡大の準備</b> VIS社新圧延投資、Alta社増産投資を実行中。新中計期間中に本格稼働開始予定</li> </ul>
国内鉄鋼	競争力強化と将来を見据えた設備更新 ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>出荷量は目標未達も、トン当たり利益大きく改善</b> 2023年度の出荷量は未達となるもトン当たり利益は2020年度比+6.5千円/tの約15千円/tに改善</li> <li>・ <b>設備更新投資を進める</b> 工場設備更新：炉用トランス、省エネ設備など 製品倉庫新設：枚方事業所 職場環境の改善：新事務所棟・新厚生棟完成（名古屋、関東）</li> </ul>
環境リサイクル その他	収益力機会の拡大 △	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>収益力拡大は環境リサイクル事業の利益水準低下で持ち越し</b> コロナ禍の医廃処理貢献で2021年度は業績好調なるも、2023年度にかけて減益</li> <li>・ 資源リサイクルの新たな技術開発は道半ば</li> <li>・ 国内鋳物事業は業績改善へ</li> </ul>

# 中期経営計画2023 振り返り：6つの具体的施策 2

重点方針	進捗状況
<p>カーボンニュートラル社会 実現に向けた取り組み</p>	<p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2023年度のCO<sub>2</sub>排出量は449千トン（2013年度対比△32.7%）</li> <li>・ 2023年度のエネルギー原単位は 2022年度対比△2.7%削減も継続的な△1.0%/年削減は未達</li> <li>・ 枚方事業所 新倉庫屋根、山口/東沖にて太陽光発電を開始</li> <li>・ CDP気候変動調査にて「A-」を獲得</li> </ul>
<p>すべてのステークホルダーへの 貢献</p>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康経営優良法人の認定取得</li> <li>・ 有給休暇取得率の目標クリア</li> <li>・ 寄付活動の継続実施</li> <li>・ 山口県内の遊休地にオリーブ植樹</li> </ul>
<p>経営基盤の強化 (DXの推進など)</p>	<p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業業務基幹システムを完遂、稼働開始</li> <li>・ 工場現場のAI/IoT化進捗中</li> <li>・ 財務規律の維持（KPI達成）</li> </ul>

# 中期経営計画2023 振り返り：定性目標

## 「3つのつなぐ力」の強化



### グループ内をつなぐ

- 山口事業所漏鋼火災事故を契機にグループ各社BCP対応進捗
- 海外トレーニー制度実施
- 社内情報システムを活用したグループ社員の一体化の取り組み開始

### 外部をつなぐ

- サステナブルテクノロジー研究センターと早稲田大学・東京大学との共同研究（スラグの有効利用）
- レノファ山口（サッカーJ2リーグ）への協賛による地域への貢献、イベント協賛など

### 次代につなぐ

- 新事務所・厚生棟の建て替え(名古屋・関東)
- 営業業務に関する基幹システムの稼働開始
- 人財開発室による各種研修における次世代への技術伝承

一定の成果は出ているものの 息の長い取り組みとして さらなる連携強化の促進が必要

“NeXuS” の継続



1

中期経営計画「NeXuS 2023」振り返り

2

**環境認識**

3

中期経営計画「NeXuS II 2026」概要

4

補足資料

## 当社グループにとって重要な 環境認識

1

地政学・カントリー  
リスクの高まり

2

気候変動問題  
企業の責任

3

国内の少子高齢化  
人口減少

4

インフレ時代の到来

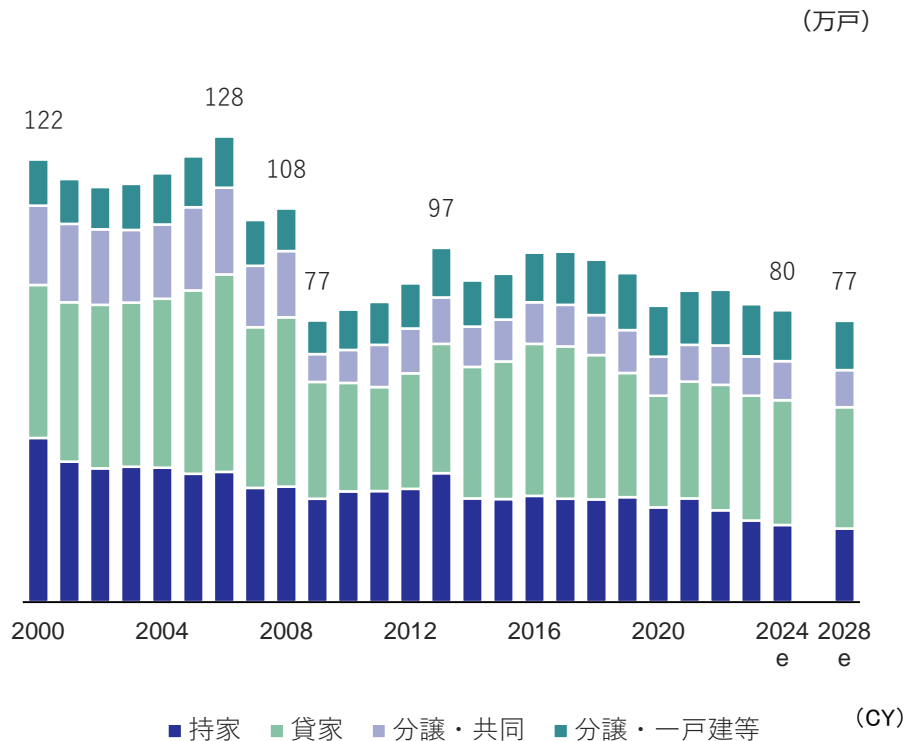
5

DXの加速化

# 事業環境：国内の鉄鋼需要

## 新設住宅着工戸数の見通し

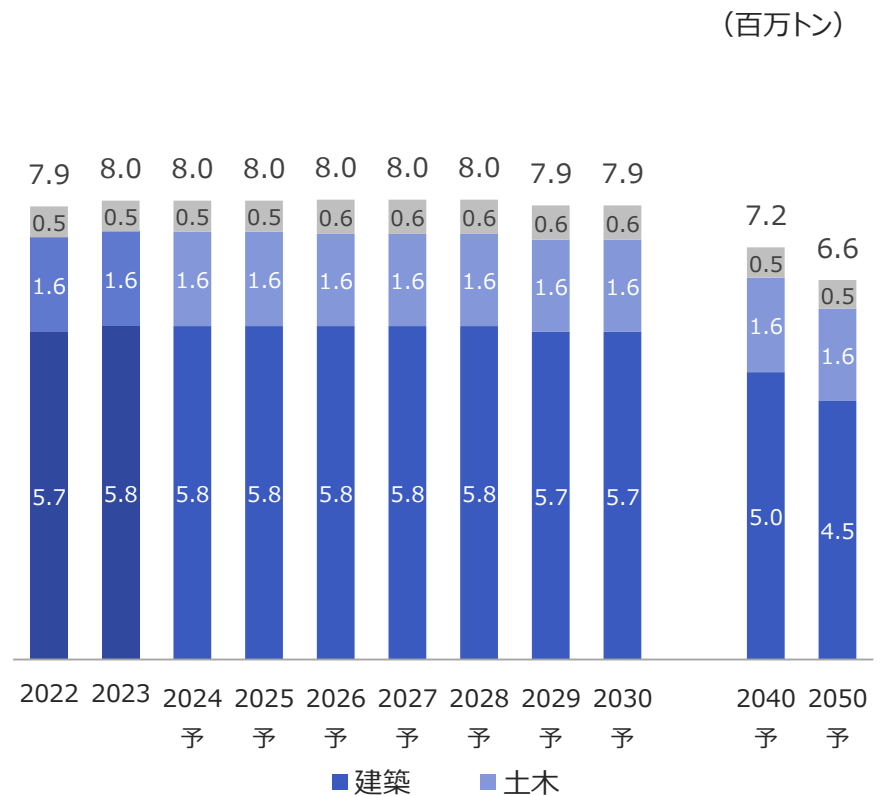
新設住宅着工戸数は波がありながらも減少傾向にあり、2024年には80万戸、2030年には77万戸となる見通し。



出典：みずほ銀行

## 棒鋼需要の見通し

2030年までは横這いで推移し、その後は長期的に緩やかに減少する見通し。

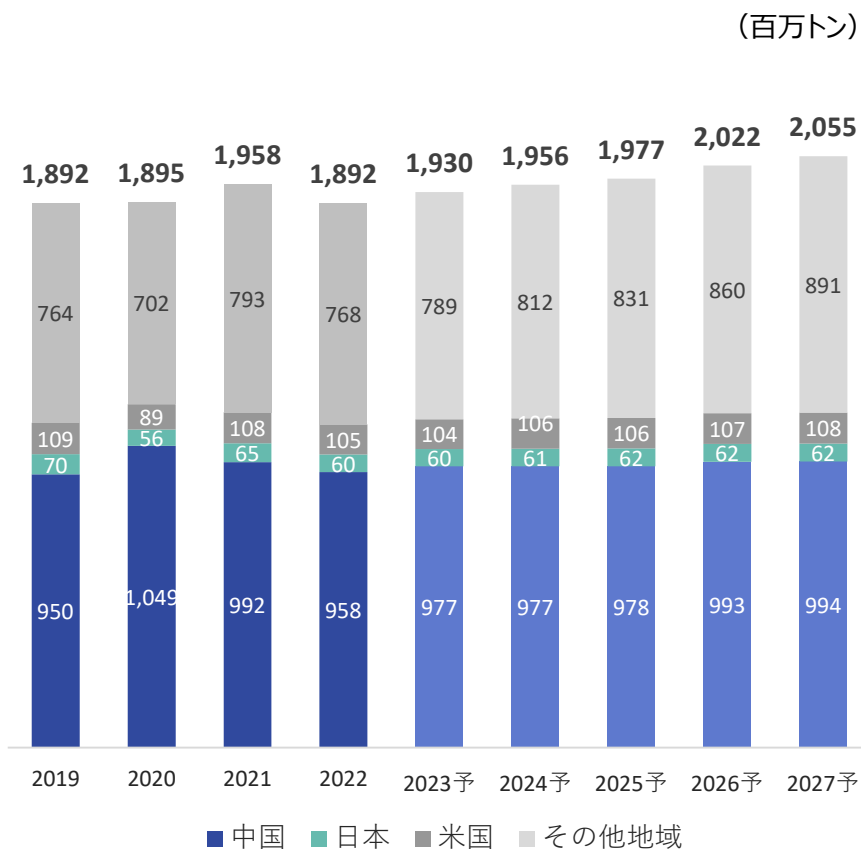


出典：みずほ銀行

# 事業環境：海外の鉄鋼需要 1

## 世界の鉄鋼需要

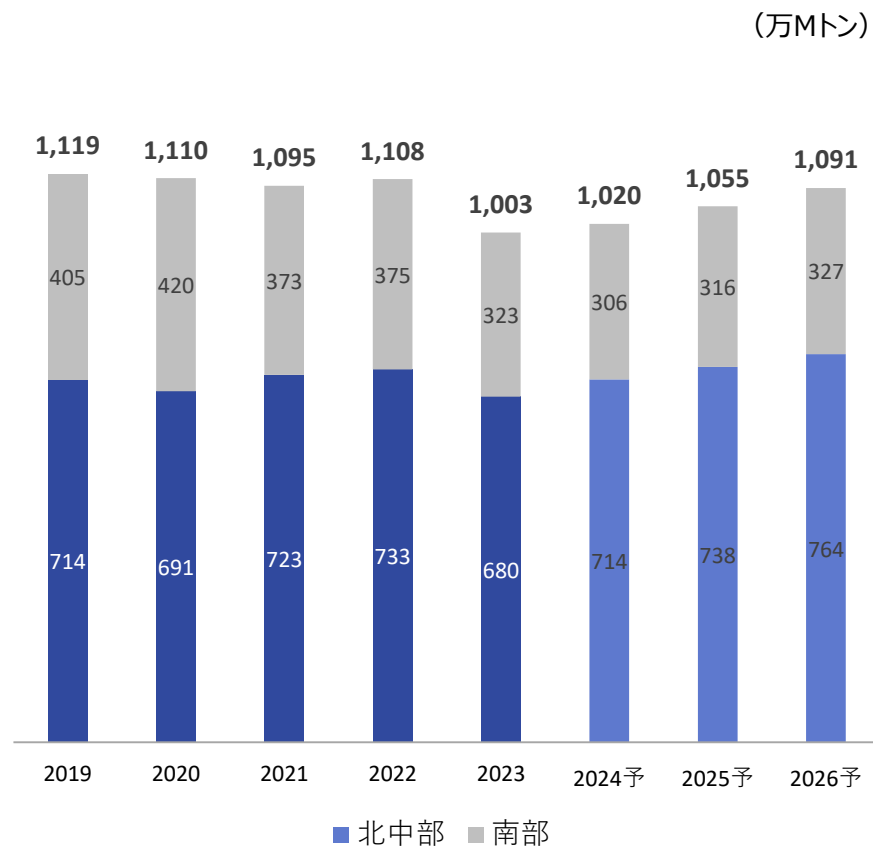
世界の鉄鋼需要は緩やかに増加し続け、2026年には過去最高の20億トンを超える見通し



出典：みずほ銀行

## ベトナムの建設用鋼材需要

2023年は建設不況の影響により南部は需要減、2024年上期も影響が残るも次第に回復し、2025年以降は大型公共事業などによる需要喚起によりとくに北部は拡大する想定

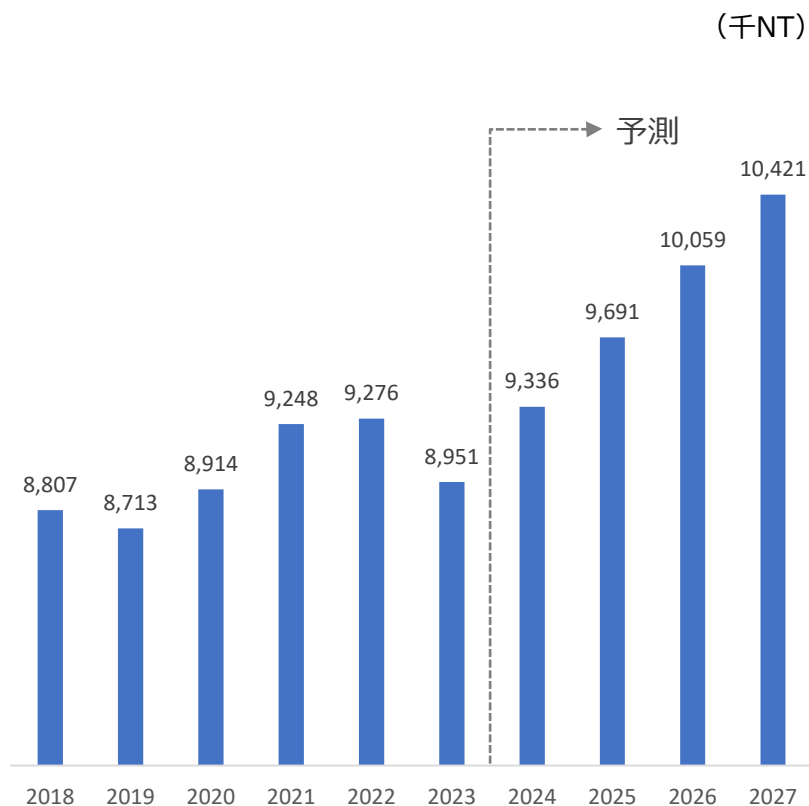


出典：当社作成

# 事業環境：海外の鉄鋼需要 2

## アメリカの鉄筋需要

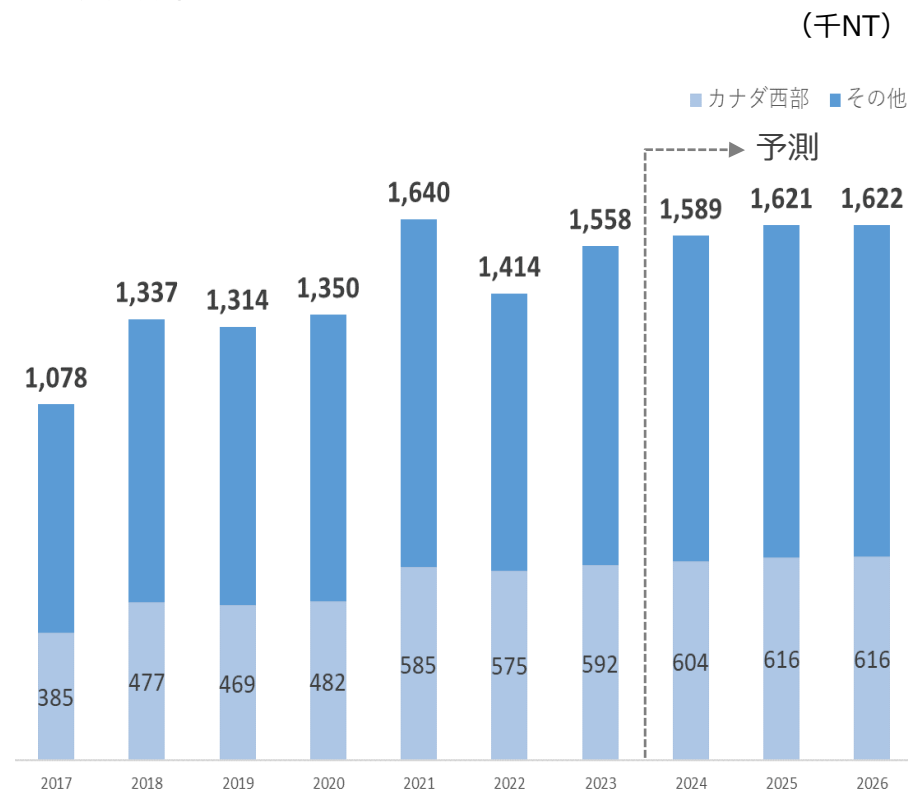
2023年の鉄筋需要は9,000千NTを下回るも、2026年には10,000千NTを超えると予想される



出典：Concrete Reinforcing Steel Institute(CRSI)資料

## カナダの建設用鋼材需要

- ・2022年はコロナペントアップ需要の反動で一旦減少もベースの需要は堅調
- ・2023年以降は人口増の恩恵を受け、鉄筋需要の緩やかな成長が期待される



Statistics Canada、CSPA、顧客ヒアリングを基にアルタスチール社作成

1

中期経営計画「NeXuS 2023」 振り返り

2

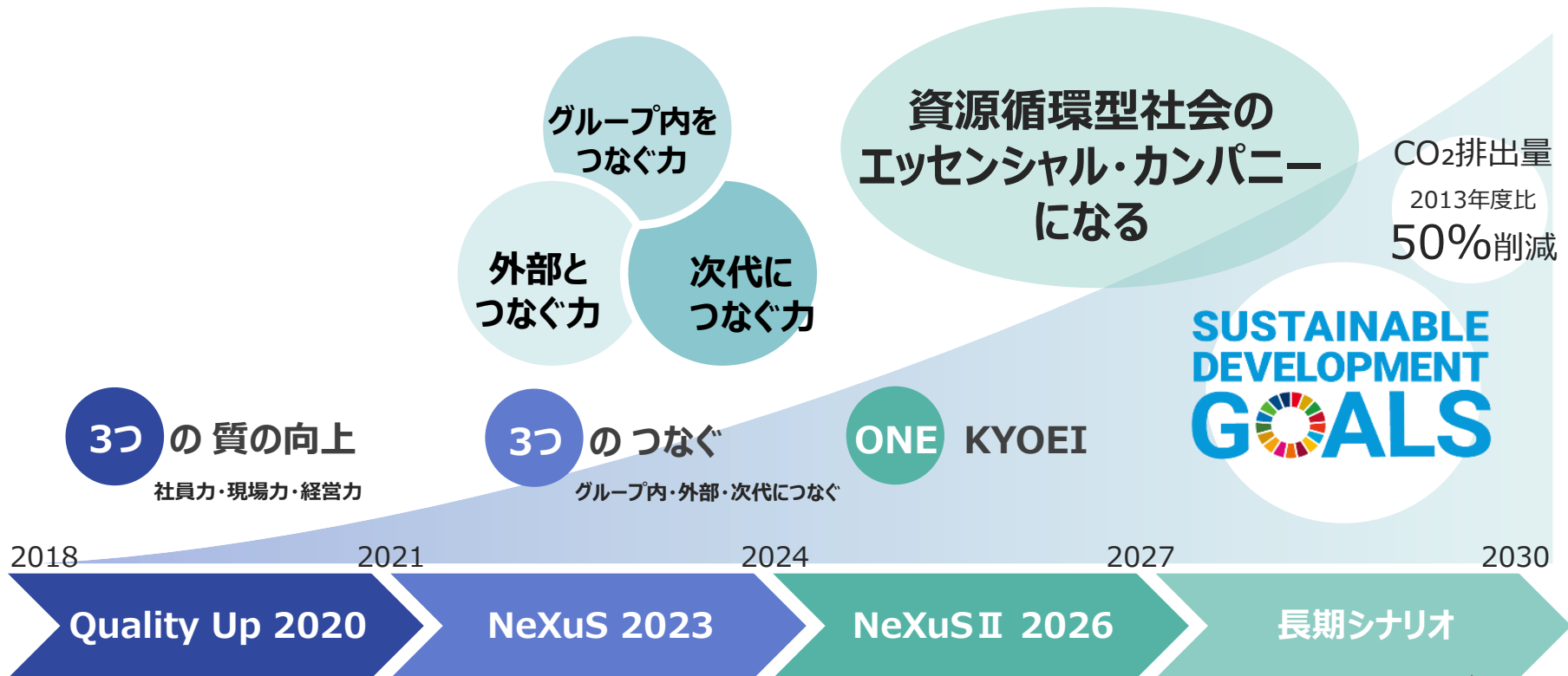
環境認識

**3****中期経営計画「NeXuS II 2026」 概要**

4

補足資料

# 2030年に向けた長期シナリオ



## セグメント別の方向性（長期シナリオ）

### 国内鉄鋼事業

国内4事業所を維持、  
「鉄筋シェアNo.1」を  
堅持し勝ち残る

### 海外鉄鋼事業

グローバルニッチ戦略のもと、  
現地の旺盛な需要を取り  
込み、成長拡大を目指す

### 環境リサイクル事業

社会の環境意識とニーズの  
高まりに応え、より質の高い  
資源循環型ビジネスを展開

### 鉄鋼周辺事業

事業のウイングを拡げるべく  
多角化にチャレンジし、  
第4の事業に成長させる

# 中期経営計画2026：重点方針

前中計の振り返り、外部・内部環境分析等を踏まえ、東証の求める「資本コストと株価を意識した経営」にも鑑み、次の6つを重点方針とする

## 事業の成長に向けた取り組み（成長戦略）

### 海外鉄鋼事業

世界3極体制のウエイトシフトによる収益力強化  
（北米事業強化とベトナム事業再構築）

### 国内鉄鋼事業

国内4事業所の連携強化と関東圏におけるプレゼンス向上  
（川上・川下戦略の実現による事業基盤の強化）

### 環境リサイクル事業

電炉溶融処理の先駆者としてのプレゼンス向上

## 成長を支える基盤強化

### 無形資産投資

「100年企業」を目指したESG経営

### 経営基盤の強化



# 定量目標 (KPI)

## 財務KPI

経常利益

250億円

出荷量

400万トン体制  
国内160万トン・海外240万トン

ROE

8%以上

自己資本比率

50%以上

ネットDELシオ

0.5倍以下

配当性向

30~35%

## 非財務KPI

CO<sub>2</sub>排出量

△50%

(2013年度対比2030年目標)

女性総合職比率

15%以上

女性管理職比率

3.0%以上

労働災害

0件/年

教育研修費/人

15万円  
(2022年度の1.5倍)

社会貢献活動支出額

連結当期純利益

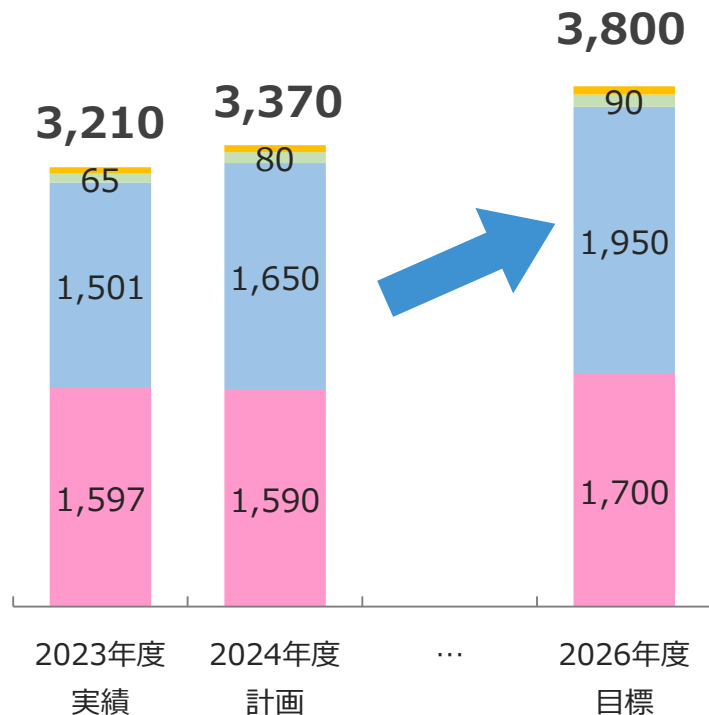
0.5%程度

# 定量目標：セグメント別 売上高・営業利益

- 中計期間で海外鉄鋼事業の収益化を図る

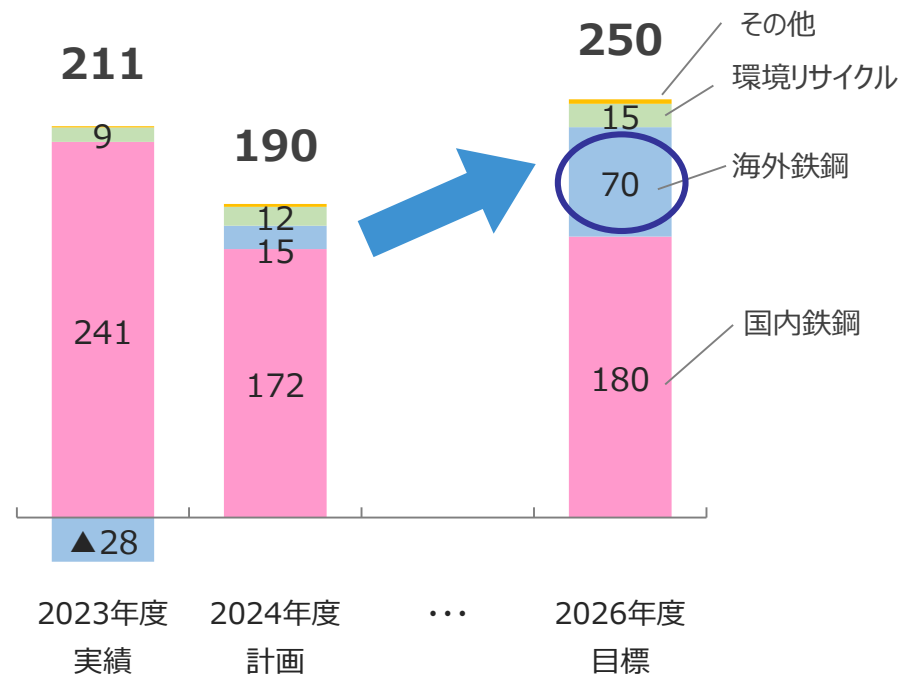
## 売上高

(億円)



## 営業利益

(億円)



※ 営業利益合計との差異は持分法損益及び連結修正

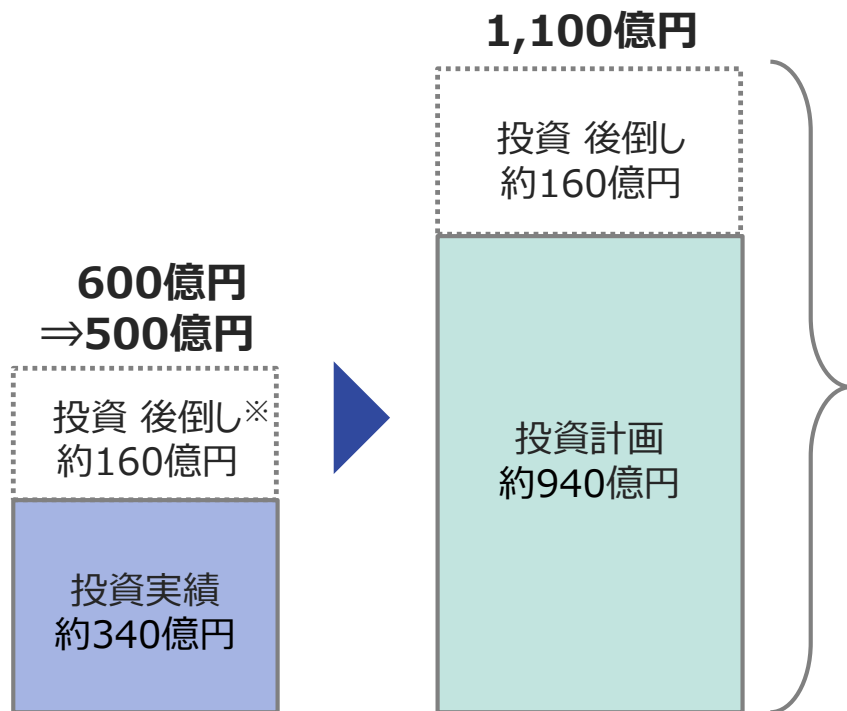
# 定量目標：投資計画

- 「世界3極体制」のウエイトシフトを図り、将来的に成長できる基盤づくりのための投資期間
- 北米戦略投資600億円含め累計（3年間）で約1,100億円の投資を計画

(億円)

**NeXuS 2023**  
2021～2023年度

**NeXuS II 2026**  
2024～2026年度



※ VIS 新圧延投資 120億円  
Alta 圧延増強投資 40億円

	国内	海外	環境R その他	合計
成長投資	80	760	40	880
環境投資	30	10	—	40
人的資本	40	10	—	50
D X 関連	20	—	—	20
維持投資など	80	20	10	110
<b>合計</b>	<b>250</b>	<b>800</b>	<b>50</b>	<b>1,100</b>

# 定量目標：資本政策・株主還元

今中計において、自己資本の目標指標を維持しながら、成長に向けた投資と株主還元の強化の両方を実現



## 成長投資

- 北米事業の強化に注力
- ベトナム事業は投資一巡

## 自己資本充実

- 自己資本比率50%以上
- ネットDELレシオ 0.5以下

## 株主還元強化

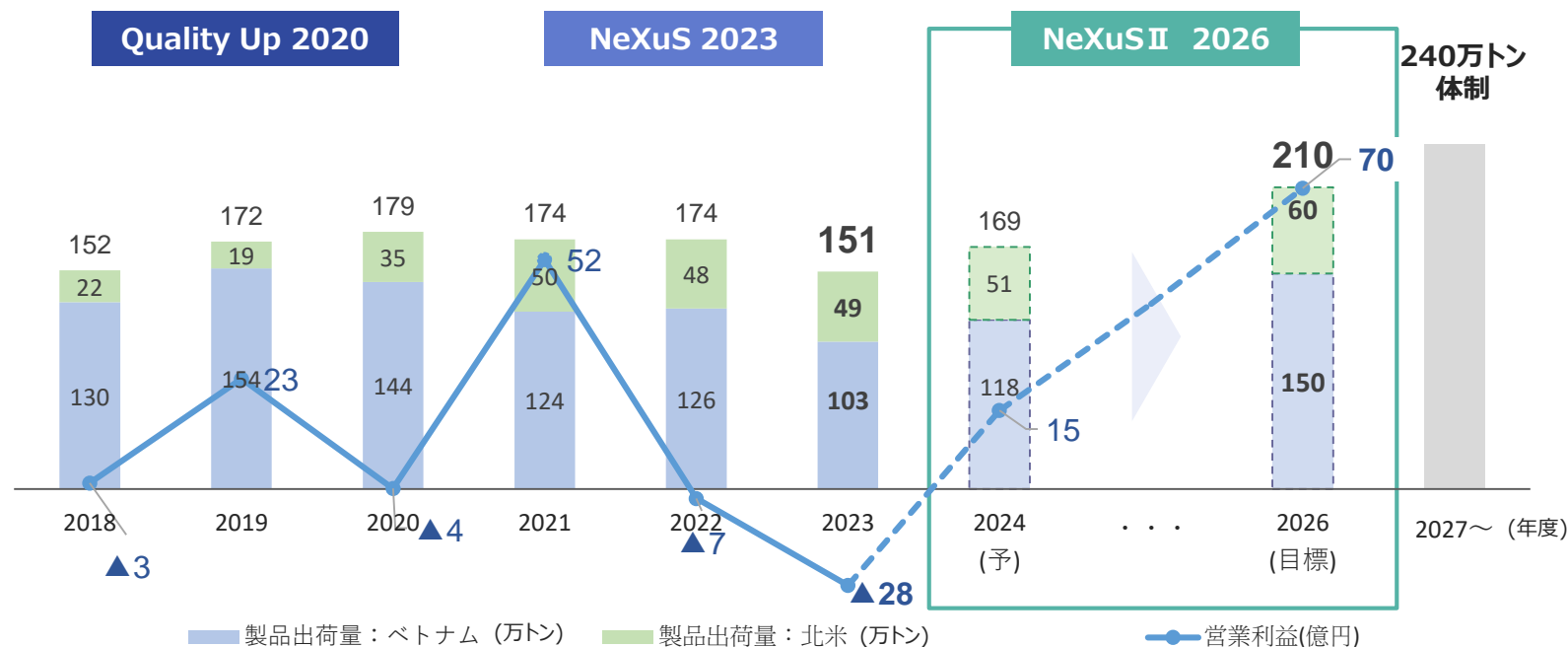
- 連結配当性向25～30%/年  
⇒ **30～35%/年**

# 重点方針：海外鉄鋼事業

## 世界3極体制のウエイトシフトによる収益力強化 ～ 北米強化とベトナム再構築 ～

### 26年度目標

- ・ 営業利益：70億円 出荷量：210万トン
- ・ 年産240万トン体制を確立（ベトナム150万トン、北米90万トン）



# 重点方針：海外鉄鋼事業（ベトナム）

- 長期化する不動産・建設市場の低迷を受け、北部拠点に力点を置き、質の強化で安定収益確保へ
- VIS社の圧延工場建設を以てベトナムでの大型投資は一巡

## 課題

- ミニ高炉、誘導炉(IF)との競合状況継続 → **コスト差の克服**
- 路線転換したベトナム政府の**政策変更への柔軟な対応**

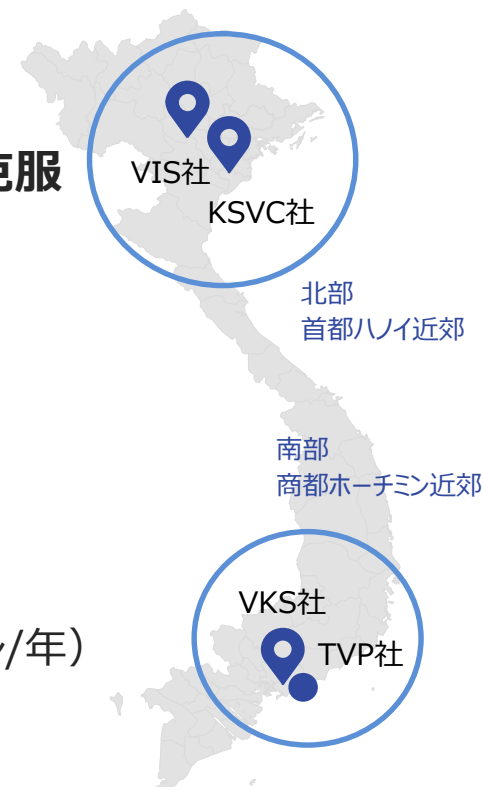
## 施策

究極のコスト削減による電炉操業の追究

VIS社：最新鋭の**直送圧延工場新設**（25年4月 ホットラン）  
 ⇒ 製鋼・圧延一貫化によるさらなるコスト競争力の向上  
 成長市場であるベトナム北部での出荷量増（60万トン/年）

KSVC社：VIS社との連携強化による出荷量確保（30万トン/年）

VKS社：プロジェクト向け販売量増  
**生産量・出荷量の抑制**による市況変動リスク軽減（60万トン/年）  
 2023年度末の設備減損処理によりコスト構造の低重心化実現



# 重点方針：海外鉄鋼事業（北米）

- 中長期的に成長が見込め、景気変動リスクが小さい北米に重点を置く
- 大型投資（約600億円）で西海岸の需要を取り込む  
⇒ 90万トン体制の構築へ

## 課題

- ・ Vinton社は老朽化で操業不調によるコスト増

## 施策

Vinton社… 最新鋭の設備導入による生産効率改善と  
コスト競争力の向上  
出荷量50万トン体制の構築  
(26年度目標 30万トン)

Alta社 … 進行中の圧延設備の早期立ち上げ  
圧延能力・製品サイズ拡大による生産・販売量増加  
(26年度目標 33万トン)

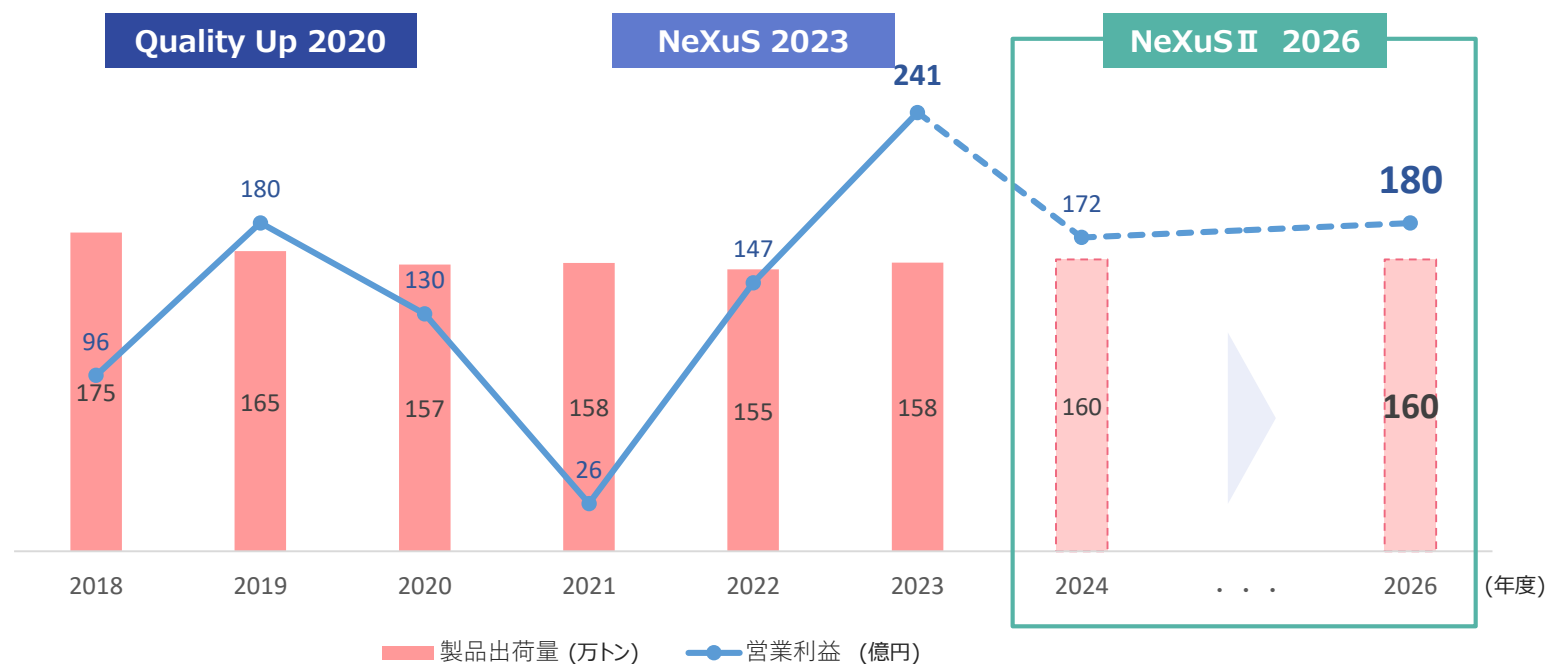


# 重点方針：国内鉄鋼事業 1

## 減少が見込まれる国内鉄鋼市場における 鉄筋シェアNo.1メーカーとしての存在感の向上

### 26年度目標

営業利益：180億円 出荷量：160万トン





## 重点方針：国内鉄鋼事業 2

- 国内4事業所の連携強化と関東圏におけるプレゼンス向上
- 川上・川下戦略の実現による事業基盤の質的強化

### 課題

- ・ 鉄スクラップの需給バランス変化への対応
- ・ 2024年問題（物流、建設）
- ・ 製造コスト、物流コストの増加
- ・ 付加価値向上の取り組み

### 施策

- ・ 関東圏におけるプレゼンス向上
- ・ 付加価値戦略：高強度鉄筋など付加価値製品の拡販
- ・ 川下戦略：関東での加工品事業の強化（グループ会社による加工品事業の展開）
- ・ 川上戦略：原材料調達手段の多様化（グループ会社によるヤード設置など）
- ・ 物流戦略：新倉庫建設（山口・名古屋）、中継拠点設置



# 重点方針：環境リサイクル／鉄鋼周辺事業

## 環境リサイクル事業

独自性のブランド化と  
ネットワーク再強化

26年度目標 営業利益：15億円

### 課題

- アfterコロナの反動で処理量減少
- 電炉による溶融処理には量の上限あり

### 施策

- 鉄づくりと廃棄物処理を同時に行う事業の  
**独自性のブランド化**
- 全国の廃棄物集荷網・メスキュード  
**システム（代理店制度）の再強化**
- 電炉溶融処理のみならず他社処理施設を  
利用した**産廃処理のワンストップ体制の強化**

## 鉄鋼周辺事業

鋳物事業の安定的な成長

26年度目標 営業利益：3億円

### 課題

- 鉄鋼周辺事業の収益力向上

### 施策

- 鋳物事業（国内・ベトナム）の安定的  
な**成長の継続**

# 重点方針：無形資産投資（人的資本経営）

4つのテーマに基づく施策により「3つのつなぐ力」を強化し、エンゲージメントの向上を図る

## テーマと主な施策

### 物質的メリット

- ・ 事務所、厚生棟リニューアル
- ・ 健康経営、安全対策・教育

### 自己実現

- ・ 研修制度の充実
- ・ 技術伝承や産学連携の取り組み

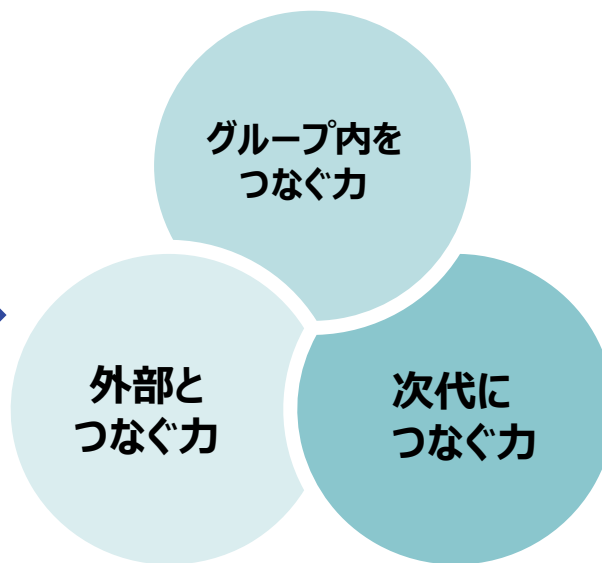
### 連帯感・チームワーク

- ・ グループ内の交流機会の多様化
- ・ 多様な人材の確保

### 企業理念への共感

- ・ 経営層とのオフサイトミーティング
- ・ ブランディング活動の推進

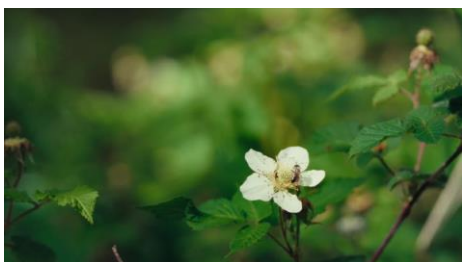
## 「3つのつなぐ力」の強化



## 目指す状態



# 重点方針：無形資産投資（ブランド戦略）



※5月末公開予定のブランドムービー

電炉を中核に鉄づくりと医療廃棄物処理を同時に行う  
資源循環型事業をブランディング（インナー・アウター両方）

# 重点方針：「100年企業」を目指したESG経営 1

## E（環境）に関する取り組み

### CO<sub>2</sub>排出量削減

2030年度CO<sub>2</sub>排出量50%削減  
(2013年度比)に向けた施策を継続

- ・ LNGへの燃料転換、太陽光パネルの設置推進
- ・ 再エネ電力の活用、新たな脱炭素施策の検討
- ・ TCFD提言の取り組み継続、GXリーグ参画
- ・ 海外生産拠点のCO<sub>2</sub>排出量測定を検討

### ゼロエミッション実現

鉄鋼副産物の資源循環に向けた施策を継続

- ・ サステナブルテクノロジー研究センターでの産学連携によるスラグ有効利用の開発促進
- ・ ダスト処理の亜鉛回収技術の研究・開発



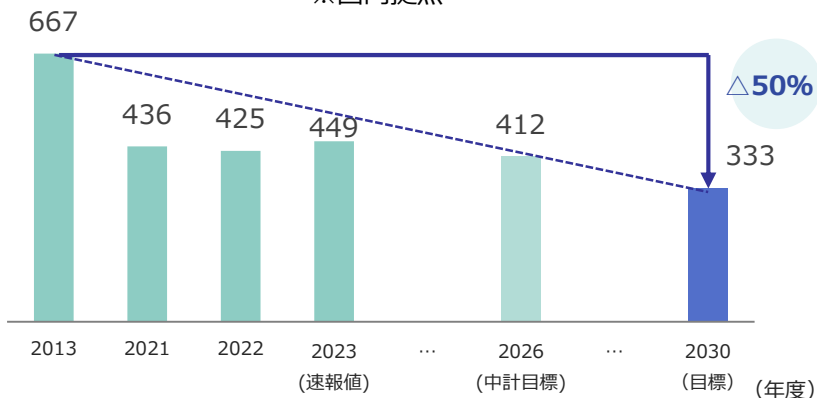
スラグ

### KPI

- ・ 2026年度のCO<sub>2</sub>排出量 412千t-CO<sub>2</sub>

CO<sub>2</sub>排出量 (千t-CO<sub>2</sub>)

※国内拠点



# 重点方針：「100年企業」を目指したESG経営 2

## S（社会）に関する取り組み

### 地域社会への貢献に向けた施策の実施

#### KPI

社会貢献活動支出を  
連結当期純利益の0.5%程度で実施

地域活動への  
参画・協賛など

メスキュード医療安全基金

オリーブ植樹活動

人的資本経営



# 重点方針：「100年企業」を目指したESG経営 3

## G（ガバナンス）に関する取り組み

### 社会の変化に合わせたガバナンス体制の充実による経営の高度化

取締役会での多様性確保

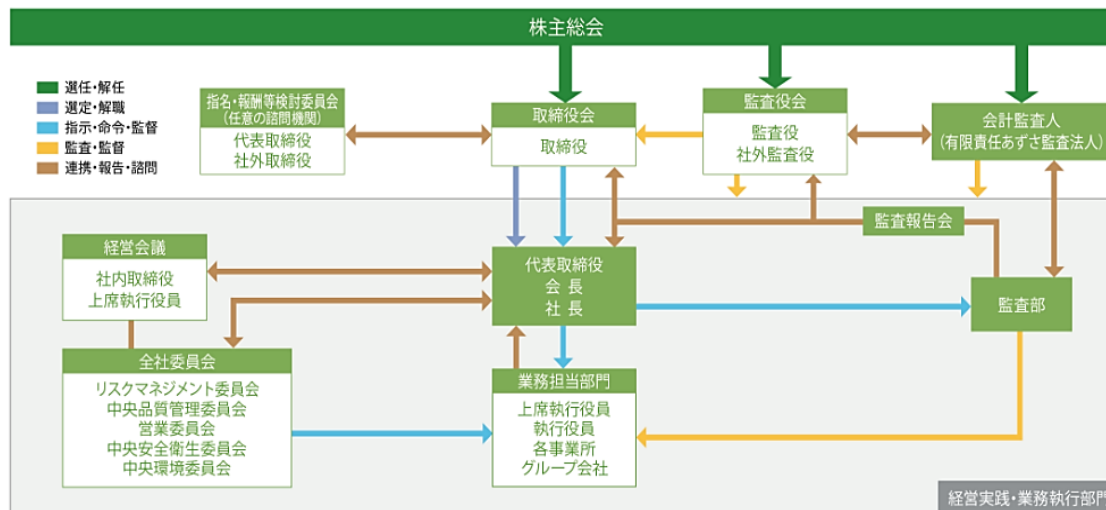
女性取締役を2名に増員（11名中）  
⇒ 女性比率18%（予定）

リスク管理体制の強化

リスクマネジメント委員会のさらなる充実

IT管理体制の強化

情報セキュリティマネジメント体制の強化浸透



# 重点方針：経営基盤の強化

## 1 エンジニアリング力の強化

- ・ 安全、安定操業にむけた取り組みを強化（エンジニアリング部門の設置）
- ・ 国内の技術を海外に移転し技術水準を向上
- ・ 若手技術者への教育、研修の強化

## 2 ものづくり起点のDX推進

- ・ 生産拠点のスマートファクトリー化を推進
- ・ データ、デジタル技術、AIを活用した安全で最適な操業と品質の向上

## 3 財務基盤の強化

- ・ 財務規律の堅持 格付け水準の維持
- ・ 資金調達が多様化



# 資本コストと株価を意識した経営の実現

- 成長戦略の実現によるROEの上昇とPERの向上によりPBRを改善

## 現状

**PBR1倍割れ**  
0.54倍  
(24年4月現在)

ROEは株主資本コストを上回っている

ROE 7.4%  
(24年3月期実績)

株主資本コスト 7%  
(CAPMによる計算)

## 改善策

**PBRの改善**

||

**ROEの改善**  
(8%以上)

×

**PERの向上**

## 成長戦略の実現

- 海外鉄鋼事業：投資戦略のウエイトシフト  
北米事業の強化  
ベトナム事業の再構築
- 国内鉄鋼事業：4事業所体制による質向上
- 環境リサイクル事業：プレゼンス向上

## 期待値の向上

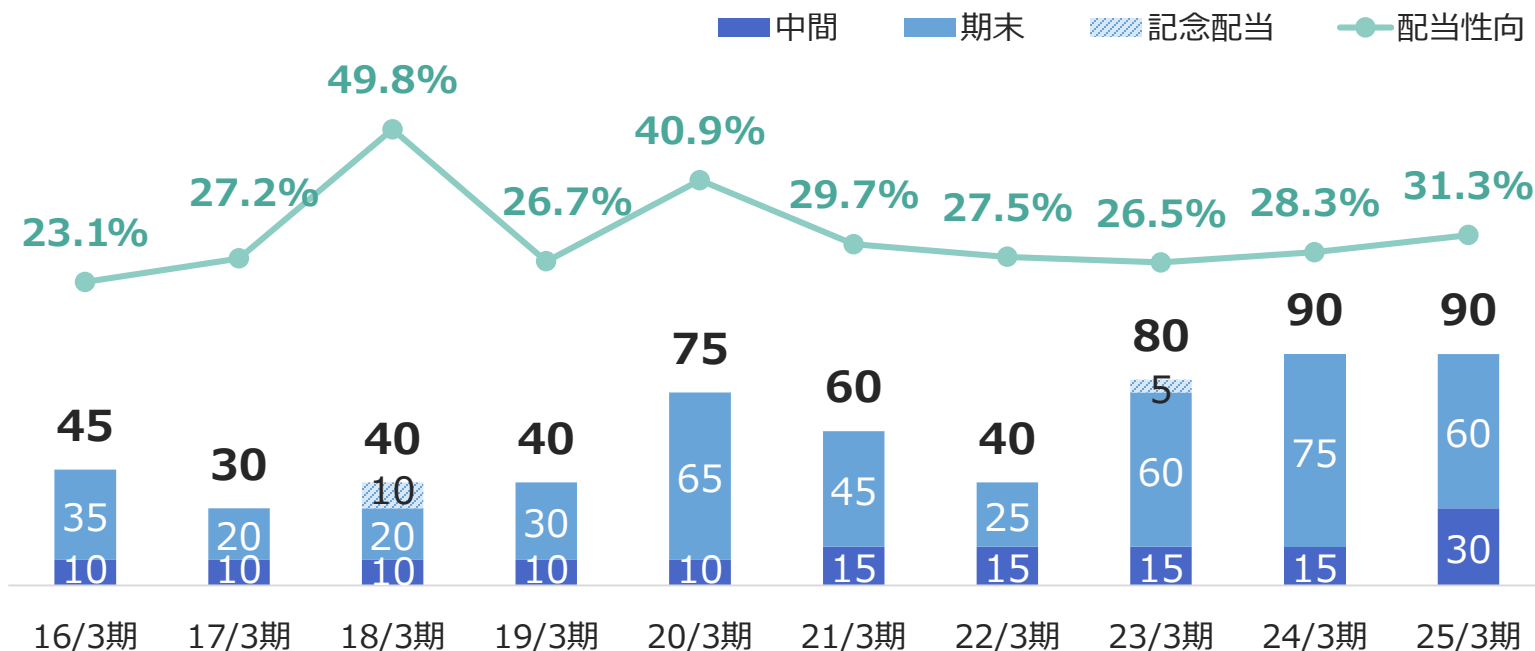
- 人的資本投資の充実
- ブランド力強化
- IR活動強化

# 配当方針

## 配当方針の見直し

- ・ 企業価値向上に向けた内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続
- ・ **配当性向 (連結) : 25~30% から 30~35%に変更**
- ・ 中間配当 : 15円から30円に増額 (1株当たり年間配当の下限は30円)

## 配当・配当性向の推移



# NeXuS 2023

～ 地球と共存 世界へ未来へつながる共英製鋼グループ ～



# NeXuS II 2026

～ ONE KYOEI 100年企業を目指して ～

1

中期経営計画「NeXuS 2023」 振り返り

2

環境認識

3

中期経営計画「NeXuS II 2026」 概要

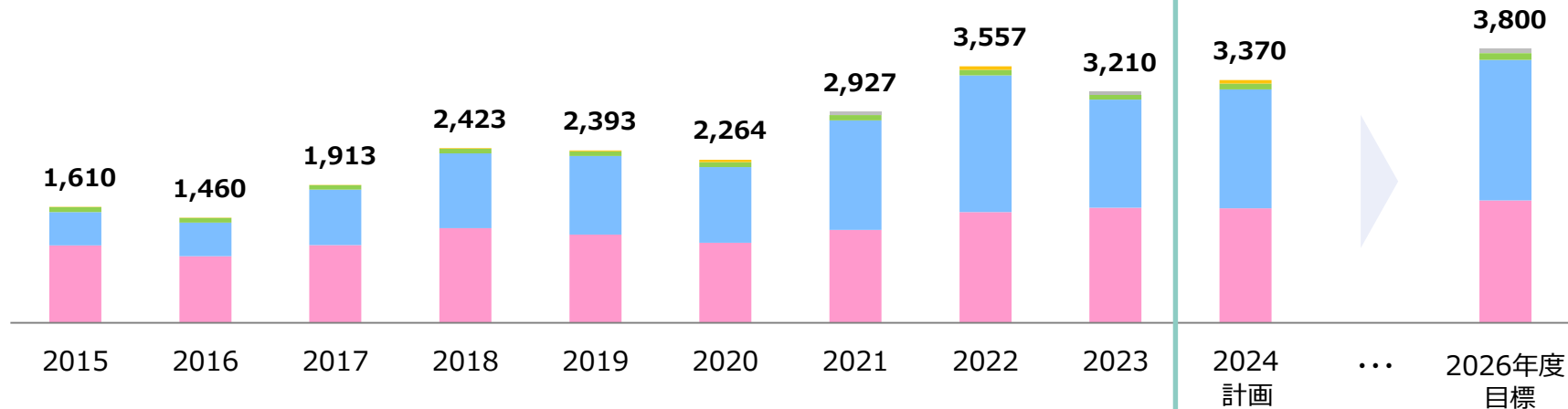
4

**補足資料**

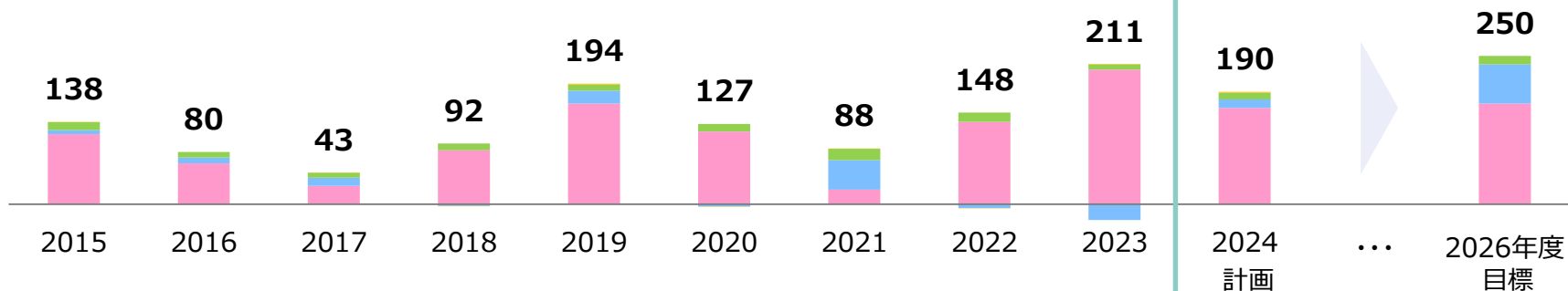
# 参考：業績の推移

## 売上高 (億円)

- 国内鉄鋼事業
- 海外鉄鋼事業
- 環境リサイクル事業
- その他事業

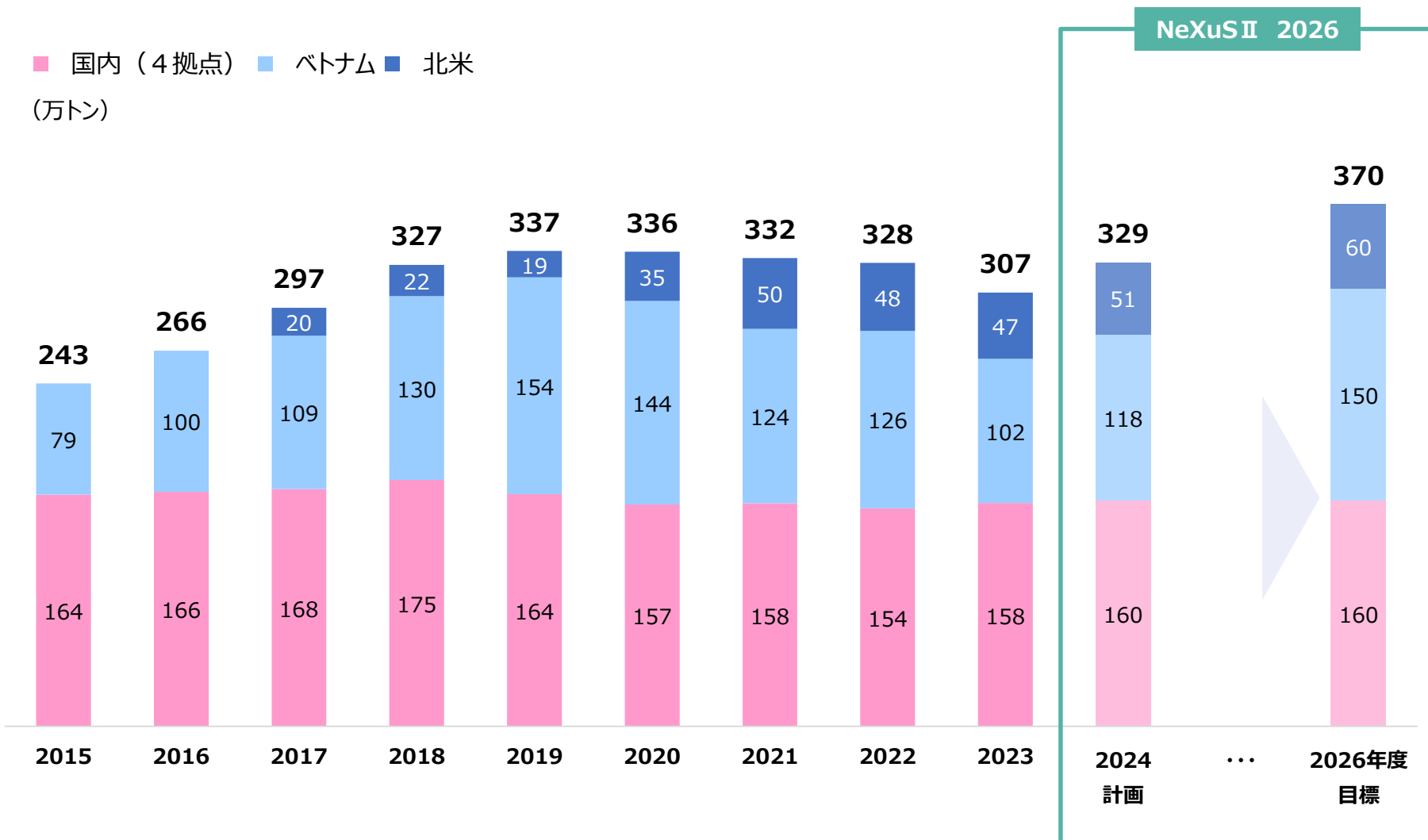


## 営業利益 (億円)

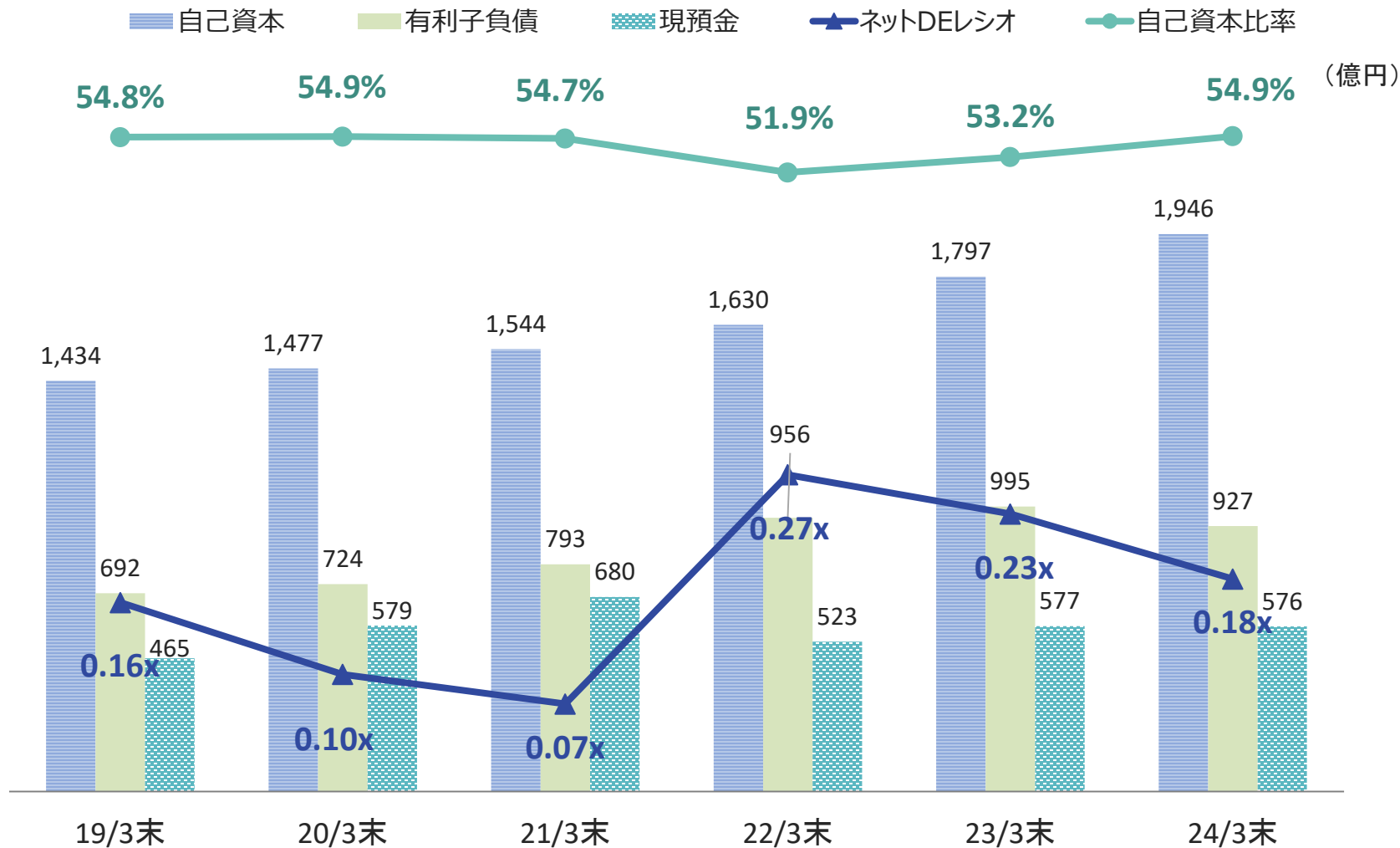


# 参考：出荷量の推移

■ 国内（4拠点） ■ ベトナム ■ 北米  
(万トン)



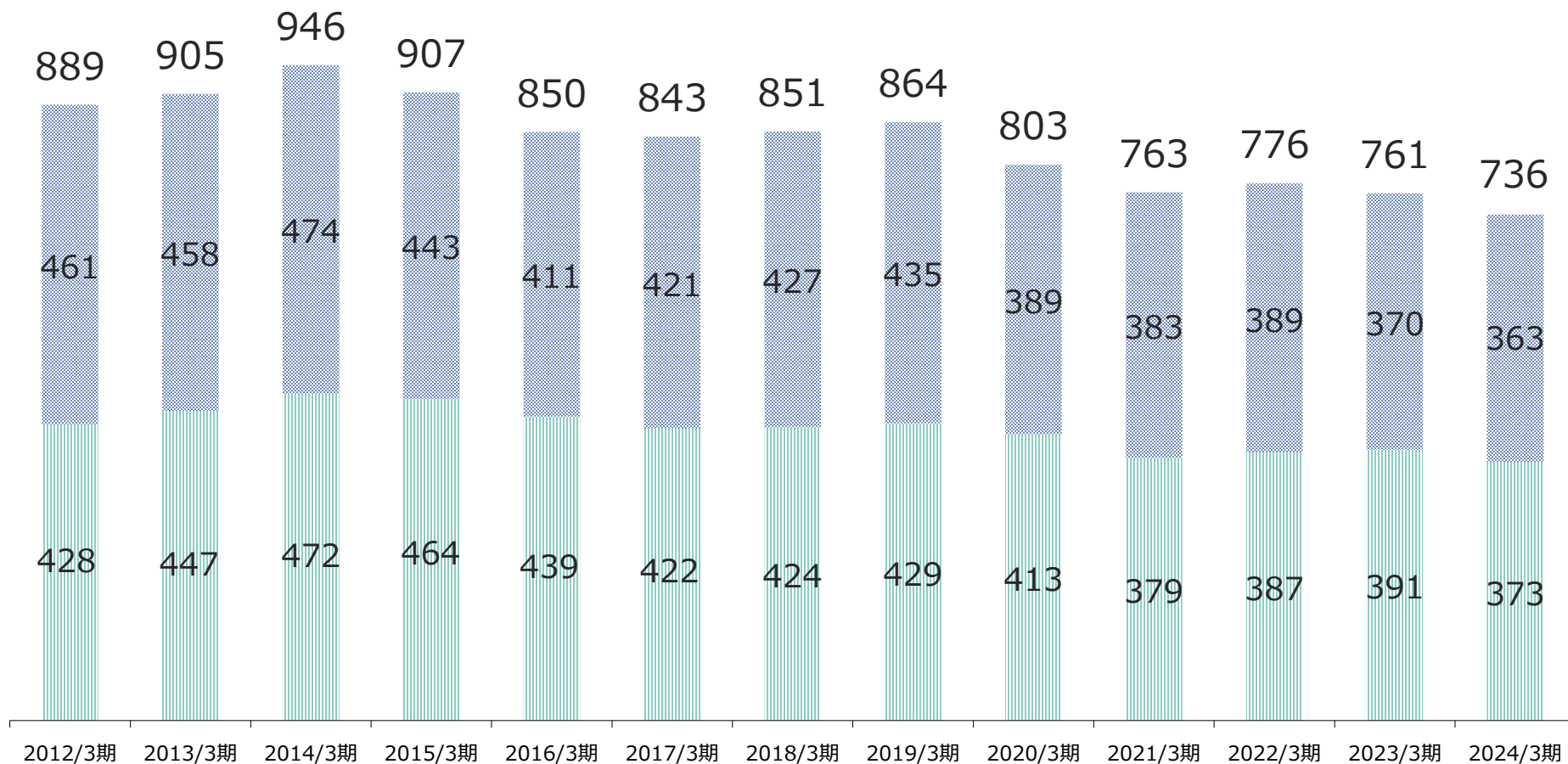
# 参考：財務指標の推移



# 参考：国内小形棒鋼生産量 推移

■ 上期 ■ 下期

(万トン)



(出典) 日本鉄鋼連盟資料



# 参考：当社グループの国内拠点



## 山口事業所

異形棒鋼（全サイズ）、構造用棒鋼、  
小形形鋼（平鋼、Iバー、等辺山形鋼）



## 枚方事業所

異形棒鋼（細物）、丸鋼



## 共英産業(株)

鉄筋加工、鋼材販売ほか



## 共英マテリアル(株)

スクラップ集荷・加工



## (株)吉年 鋳物製造



## (株)共英メソナ

環境リサイクル事業



## 関東事業所

異形棒鋼（細物）



## 名古屋事業所

異形棒鋼（全サイズ）、  
ネジ節鉄筋、高張力鋼

## その他の国内拠点

- ・ 共英リサイクル(株)
- ・ 共英加工販売(株)
- ・ みどり精密工業(株)
- ・ 中山鋼業（持分法適用）



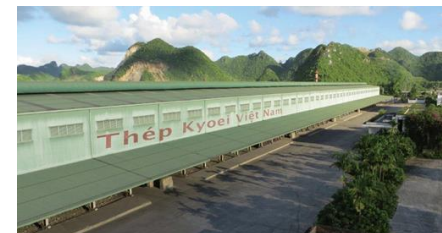
# 参考：当社グループの海外拠点（ベトナム）



- 1** **ベトナム・イタリー・スチール社（VIS社）**  
 ベトナム フンエン省  
 事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）  
 生産能力：製鋼45万トン/年、  
 圧延30万トン/年
- 2** **キョウエイ・スチール・ベトナム社（KSVC社）**  
 ベトナム ニンビン省  
 事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）  
 生産能力：圧延30万トン/年
- 3** **ビナ・キョウエイ・スチール社（VKS社）**  
 ベトナム バリア・ブントウ省  
 事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、丸鋼、形鋼、線材）  
 生産能力：製鋼50万トン/年、圧延90万トン/年
- 4** **チー・バイ・インターナショナル・ポート社（TVP社）**  
 ベトナム バリア・ブントウ省  
 事業内容：港湾事業
- 5** **ビナ・ジャパン・エンジニアリング社（VJE社）**  
 ベトナム ハイフォン市  
 事業内容：鋳鉄製品製品の製造・販売  
 生産能力：9,000トン/年



製鋼工場（ハイフォン）



# 参考：当社グループの海外拠点（北米）



## 1 アルタ・スチール（AltaSteel）社

カナダ アルバータ州

事業内容：鋼材の製造・販売、  
スクラップメタルの処理・販売

生産能力：製鋼30万トン/年  
圧延27万トン/年

設立年：2020年（創業は1955年）

アルタ・スチール  
（アルバータ州）

1

ビントン・スチール  
（テキサス州）

2

## 2 ビントン・スチール（Vinton）社

米国 テキサス州

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、鉄球）

生産能力：製鋼25万トン/年、  
圧延20万トン/年（棒鋼）  
鍛造 5万トン/年（鉄球）

設立年：1962年

